



保育園だより



蒸し暑い日が続いていますが、子どもたちは元気いっぱい！登降園時には、長靴で水たまりにバシャバシャと入ってみたり、わざと雨に濡れてみたり…。どろんこ遊びでも、ひんやりした泥や泡の感触を喜ぶ子や汚れること自体を楽しむ子など、子どもたちの姿は様々ですが、一人ひとりの面白いと感じる遊びが、その子を夢中にさせ集中力が持続していました。また、最近では保育室に飼育ケースが並び、カブト虫やザリガニ、おたまじゃくしや蝶のサナギなどの観察にも興味が高まっています。虫や小動物に触れ関心を持たれた子どもたちは、変化に気づき図鑑で調べようとする学習意欲につながっています。



保育園では、何気ない日常の中に『思わずやってみたくなる魅力的な遊び』を設定するよう工夫しながら、子どもたちが自ら喜んで遊び込み、たくさんの発見や感動を経験できるように！とのねがいを持って、保育を進めていきたいと思っています。



いよいよ夏本番！！今月は水遊びを中心に、「水に慣れ親しむ、ルールを守って安全に遊ぶ、健康な身体作りをする」などを目標として、水の心地よさを味わいながら心を開放して水と戯れることで全身運動を促し、友だちと一緒に遊んだり挑戦したりして関わりが広がるようにしていきます。この時期ならではの生き生きとした体験の中で、豊かな心を育てていきたいと思えます。

暑さから疲れやすくなったり食欲が落ちたりしがちです。保育園では子どもたちの健康状態を把握しながら、こまめな水分補給や午睡による休息を促し、衛生面でも十分に気をつけていきます。ご家庭でも“早寝早起き・朝ごはん・朝うんち”の生活リズムを大切にいただき、健康管理をよろしく願います。元気に夏を過ごしましょう！

7月の行事予定

- 1日(月) プール開き・・・プール遊びのお約束をします
- 1日(月) 午睡始め・・・4.5歳児も昼寝をします
- 2日(火) いわっこ・・・夏の衛生、健康を確認します
- 2日(火) 3日(水)
発育測定・・・身長、体重をはかります
- 3日(水) 避難訓練・・・地震から火災になる訓練です
- 4日(木) 不審者訓練・・・室内遊びの時に不審者が侵入
- 5日(金) 七夕会・・・七夕の伝統行事に親しみます
お願い事は何か？
- 12日(金) 夏まつり・・・コーナーや盆踊りを楽しみます
おみやげもあるよ！
- 17日(水) 誕生会・・・みんなでお祝いします

8月の行事



- 1日(木) いわっこ
- 6日(火) おばけごっこ
- 6日(火) 7日(水)
発育測定
- 7日(水) 避難訓練
- 8日(木) 不審者訓練
- 21日(水) 誕生会
- 30日(金) プール納め
- 30日(金) 午睡終了
(4.5歳児)



HPでは個人情報保護の為
園児名は公開していません。

今月の「いわっこ」では…

☆プール遊びでの約束について
☆夏の健康な過ごし方について
(水分補給と休息の大切さ、汗の始末の仕方、日陰で遊ぶ)

☆身だしなみについて
(服装、髪、爪など)

子どもたちがよく分かるように、
具体的な例をあげながら

丁寧に説明して、
健康安全への
意識を高めます。



*かゆみのある湿しんは「とびひ」かも!?

虫刺されや湿しんなどで傷ついた肌を汚れたつめでひっかくと、傷口に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になるかもしれません。うみをもったような水ぼうがができ、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひっかくと大変!水ぼうが破れて中の液が付いた所に、とびひがどんどん広がってしまうのです。水ぼうを見つけたらガーゼで覆い、受診しましょう。内服薬が効果的です。



*高熱に注意!

夏に流行する主な病気に、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。

*高熱が出る *目の充血や痛み *のどの腫れや痛み *体に発しんが出る

これらの特徴があり、いつもと様子が違うときは、必ず受診して医師の診断を仰ぎましょう。



☆お星さまキラキラ♪七夕会☆

今年も地域の方のご協力で、ホールに大きな笹飾りを設置する予定です。お家で書いていただいた短冊や、子どもたちが作った飾りを結びつけますね。どうか、みんなの願いが叶いますように♡

☆たのしみだね♪夏まつり☆

朝の体操で3曲の盆踊りを覚えています。廊下には子どもたちが作った可愛い提灯も飾ります。いよいよお祭り気分が盛り上がってきましたよ。役員の皆様、お手伝いありがとうございます!

～ 保育園から小学校へ…円滑な接続を目指して ～

先日、小学校での幼保小連絡協議会に参加しました。校内に入ると何人もの卒園児が「うわあ～!先生!!」と、変わらぬ笑顔で駆け寄って来てくれ、懐かしさと喜びでいっぱいになりました。

授業参観では、子どもたちの自主的な行動や、緊張することなく生き生きと自己表現する姿、教師が注意や禁止ではなく褒める言葉で指導する様子などが印象的であり、保育園から小学校へのギャップが少なくスムーズに移行できていることを感じ安心しました。

また学校側からは「基本的な生活習慣や決まりを守る事が身につけている子が多いので、集団での活動がしやすい」との話も聞き、これまでの保育の中で大切にしてきたことや保護者の方々の思いが、しっかりと子どもたちの力となっていることを嬉しく思います。

今後もお互いのカリキュラムを理解し、子どもたちが無理なく学校生活に入れるよう幼児教育の充実に努めていきたいと思ひます。